

第2回市民ワークショップ実施概要

開催日時	2025 年 11 月 29 日(土) 9時30分～12時00分
開催場所	一橋大学 東キャンパス 東本館 1階 Agora
参加者数	22 人（市民アンケート回答者＋市内関係団体等からの推薦者）
市民 WS の 実施目的	◆都市計画マスタープランの改訂に向けた論点・課題等の検討 ◆都市計画マスタープランの実現・運用に向けたアイデア出し
実施内容	【第2回市民WSのテーマ】 ◆20年後の国立市のまちの将来像をつくろう！ ⇒ グループワークその1 ◆将来像を実現する重要な取組などを考えよう！ ⇒ グループワークその2
実施結果	※次ページ以下に各グループワークの模造紙のとりまとめを掲載

【当日の様子】



■第2回市民WS 20年後のまちの将来像・重要な取組【Aグループ】

20年後のまちの将来像・重要な取組

2025.11.29(土) Aグループ 市民WS #2

多様な人達と出会えるキッカケが多い街

注目するコト

- ひと
- 人とのふれあい
- 子ども 中高生 高齢者にも優しい
- 人との関わりあい
- 気軽に話ができる
- 出会いのあるまち
- 世代を問わず交われる
- 気軽にあいさつができる
- ゆるいつながりがある
- 余欲が感じられる状態
- 情報発信

望ましい状態

- 世代に関係ない人間関係
- 市民の話し合いの場、キカイがあるーコン談会のようなー
- 気軽に話ができるコミュニティ、働きかけ
- 出会いのあるまち
- 世代を問わず交われる
- 気軽にあいさつができる
- ゆるいつながりがある
- 余欲が感じられる状態
- 情報発信

重要な取組

- ごみひろいをした後にみんなで集まっておしゃべり
- 自治会とは別でごみひろいのイベントを行う
- 天下市などと連動してごみひろいイベントする
- 定期的な市民コン談会の開催
- 地域のことを教育、市民教育/ 全員参加
- 駅前イベント定期開催プロジェクト
- LGBTQも考えてみる

みんなの居場所をみんなで作る

注目するコト

- 居場所
- 居心地
- 市全体に魅力あるスポットがちりばめられている
- 健康
- 緑豊かなまち、道

望ましい状態

- 自然と話かけられる 落ちつける 休める
- 矢川プラスがたくさんある
- 帰りたくなる・戻りたくなる街
- 活気がある
- 移動しやすい

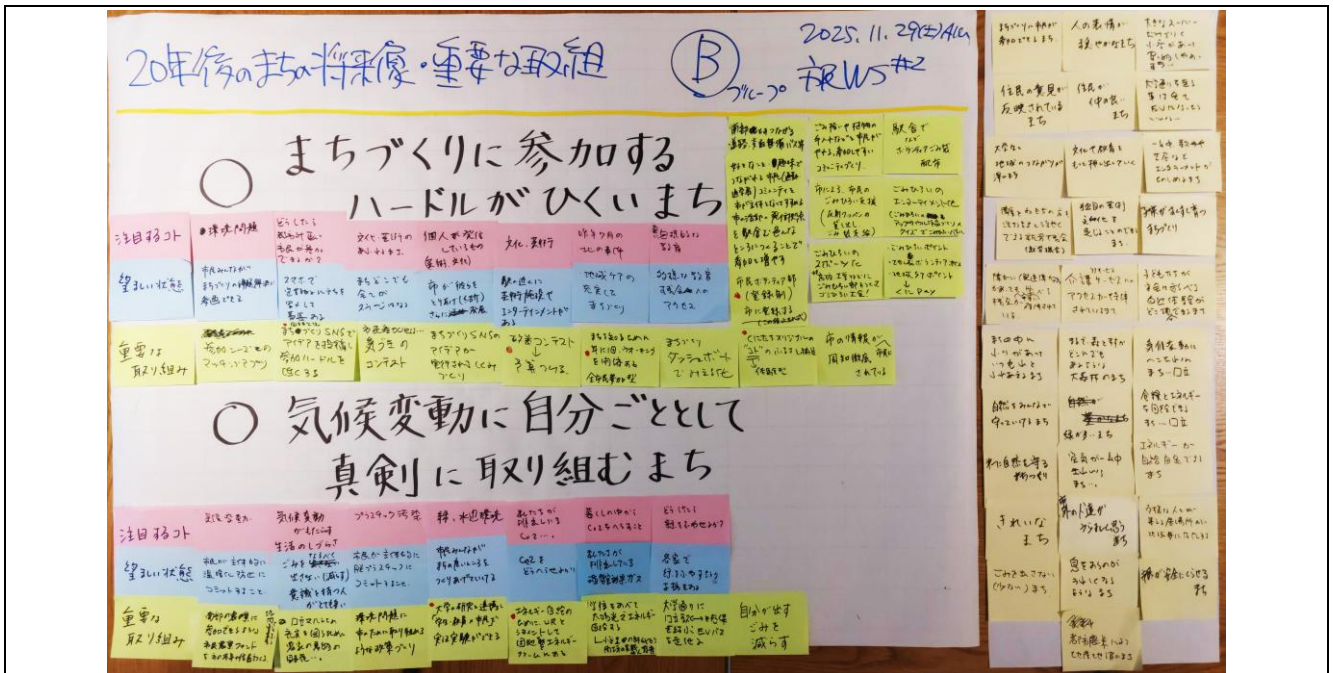
重要な取組

- まちづくりプロジェクト 国立市でこんなことをやってみようというアイデアを集める (小・中・高・大・大人対象)

※こんなまちになったらいいな

- ちょっとしたモヤモヤがためこむ前に吐露できる場所がある
- ゴミひろいができるまち/ 気持ちいい街
- 外出したくなる街/ 近所づきあいできる町
- 互いに注意できるまち/ 飲み歩きができるまち
- あきない街
- 住民だけでなく学生や仕事で来る人がワクワクする
- みんながあいさつをかわすまち
- ちょっとしたベンチで気楽に話ができる町
- 交差点毎にベンチがある
- 駅前にたまり場がある/ 駅前に豊かな緑がある
- 健康について気軽に相談できる場所がある町
- 病気があってもなにかかわらず活気のある町
- 思い出をつくれる 店→個性的、落ちつく 風景→心が動く 静まる 人→親しみ ふれあい
- 子どものたまり場がたくさんある
- 帰りたくなる、戻りたくなる街
- 幸福を感じられる街/ 市内巡りができるまち
- 自転車で回遊できるルートがある環境
- 多摩川に行きやすい道をつくり
- 安全に歩けるまち/ お金がかからない街
- 自然を保つ、守る 放置するのではなく 例えば多摩川沿いにベンチを置いてみる→定期的な草刈り←市民ボランティア
- 車が少なくて歩き優先
- 高齢者が移動しやすい環境
- インフラについて安心できる町(水道の老朽化)

■第2回市民WS 20年後のまちの将来像・重要な取組【Bグループ】



○まちづくりに参加するハードルがひくいまち

注目するコト

- ・環境問題/・どうしたら都市計画・市民が参加できるか?
- ・文化・芸術のあふれるまち
- ・個人が発信しているもの(芸術、文化)/・文化、芸術
- ・昨年7月の北の事件/・真に包摂的な教育

望ましい状態

- ・市民みんながまちづくりの課題解決に参画できる
- ・スマホで定期的にまちを写メして募集する
- ・まちどこでも全てがステージになる
- ・市が彼らをとりあげ(紹介)さらに発展
- ・駅の近くに芸術施設やエンターテイメントがある
- ・地域ケアの充実したまちづくり
- ・多様な教育機会へのアクセス

重要な取組

- ・参加二重のマッチングアプリ
- ・国立市公認まちづくり SNS でアイデアを投稿し参加ハードルを低くする
- ・市民参加とは… 気づきのコンテスト
- ・まちづくり SNS のアイデアが実行されるしくみづくり
- ・政策コンテスト→予算つける
- ・まちを知るために年に1回ウォーキングを開催する全市民参加型
- ・まちづくりダッシュボードでみえる化
- ・国立市オリジナルの“コト”のふるさと納税→体験型
- ・市の情報が市民に周知徹底されている
- ・南部とのつながる道路、交通整備バス等
- ・好きなこと、趣味でつながれる市民(通勤・通学者)コミュニティを市が主体となって進める
- ・市の活動の発信拠点を駅含む色んなところにつくることで参加を増やす
- ・市民ボランティア部(登録制)市に登録する(この指止まれ式)
- ・ごみ拾いや植物の手入れなどを市民がやれる、参加しやすいコミュニティづくり
- ・市による、市民のごみひろい支援(反射ワッパンの貸し出し、ごみ袋支給)

- ・ごみひろいのスポーツ化 小中高校、大学などにごみひろい部をつくってゴミひろい大会!
- ・駅舎などでボランティアごみ袋配布
- ・ごみひろいのエンターテイメント化(ごみひろい×アップサイクル作品づくり×クイズでごみひろいバトル)
- ・ごみひろいポイント・地域ボランティアポイント・地域ケアポイント→くに Pay

○気候変動に自分ごととして真剣に取り組むまち

注目するコト

- ・気候変動/・気候変動がもたらす生活のしづらさ
- ・プラスチック汚染/・緑・水辺環境
- ・私たちが排出している CO2…
- ・暮らしの中から CO2 をへらすこと
- ・どうしたら緑をふやせるか?

望ましい状態

- ・市民が主体的に温暖化防止にコミットすること
- ・ごみをなるべく出さない(減らす)意識を持つ人がとても多い
- ・市民が主体的に脱プラスチックにコミットすること
- ・市民みんながまちの良いところをつくりあげていける
- ・CO2 をどうへらせるか
- ・私たちが排出している温室効果ガス
- ・各家で緑をふやすような支援をする

重要な取組

- ・南部の農業に参加できるような市民農業ファンドを市の予算+住民でつくる 域内さとする
- ・国立マルシェの充実を図るために農家の産物の販売
- ・環境問題に市のために取り組めるような政策づくり
- ・大学の研究と連携し「学生・教員×市民」で実証実験ができる
- ・エネルギー自給のために、UR とジョイントして団地をエネルギーファームにする
- ・学校をすべて太陽光でエネルギーを自給する→小学生の時代から再エネの実践教育
- ・大学通りに国立駅⇄谷保を結ぶ EV バスを走らせる
- ・自分が出すごみを減らす

<p>※こんなまちになったらいいな</p> <ul style="list-style-type: none">・まちづくりに市民が参加できるまち・人の表情が穏やかなまち・大きなスーパーだけでなく小店があって買い物がしやすいまち…・住民の意見が反映されているまち・住民が仲の良いまち・大学通りを走る車はすべてEVになったらいいな…・大学生と地域のつながりが深いまち・文化や教育をもっと押し出していく・一年中、歌や芝居などエンターテインメントがたのしめるまち・障害をおもちの方も生き活きと活やくできる就労機会・独自の芸術文化を感じることでできるまち・子供がすくすく育つまちづくり・障がい(発達障がいなど)があっても、平等に学べる機会が確保されている・介護サービス ケアサービスへのアクセスが保障されているまち・子どもたちが安全に遊べる自然体験がどこでもできるまち	<ul style="list-style-type: none">・まちの中に小川があっていつも水とふれあえるまち・まるで森と林がどこにでもあるような大森林のまち・気候変動にへこたれないまち…国立・自然をみんなで守っていけるまち・緑が多いまち・食糧とエネルギーを自給できるまち…国立・第一に自然を守るまちづくり・空気が一年中きれいなまち…・エネルギーが自給自足できるまち・きれいなまち・市外の人達がうらやましく思うまち・多様な人々が集える居場所が地域毎に存在する・ごみを出さない(少ない)まち・息をするのがうれしくなるようなまち・市民が安全にらせるまち・都市農業による地産地消のまち
--	---

■第2回市民WS 20年後のまちの将来像・重要な取組【Cグループ】

20年後のまちの将来像・重要な取組

市民が健康で安心して暮らせるまち

注目のポイント: 健康、安心、暮らし、重要な取組

望ましい状態: 夜1人で安心して歩ける街、安心して最後まで暮らせる町、健康に生きられる街、子どもの声が響く街、自宅で最後まで暮らせる、福祉の充実

重要な取組: 自治会の見守りの強化、いろいろな人が助け合える町、市民と行政のワークショップの実効性!(共通)、運動施設の充実(身近な)

地域産業を活性化するために産学官連携を活用しているまち

注目のポイント: 産業振興、働く場、産学官連携、重要な取組

望ましい状態: 歩いて楽しいまち、ワクワクするイベントの多い町、各駅の商店街が元気、大学が地域に開かれている

重要な取組: くにPayの充実(普及・拡大)、大学と商店会の連携、空きテナントに大学生などの起業に利用、地域の商店と学生のマッチング、産学官連携のための協議体づくり、地域と大学のニーズを共有するシステム、オフィス環境の整備→にぎわい、スタートアップ優遇施策、商業組合と地域の意見をつないでいく

時代が流れても今のまちなみや自然が残っているまち

注目のポイント: 景観(まちなみ)、自然、都市計画、重要な取組

望ましい状態: 南部地域の原風景、緑地帯の保全(いちよう、さくら)、市民が誇れる景観が保全されている、富士見通りの電線が地中化されている

重要な取組: 大学通りの緑地帯の土地の買収、まちの将来(過去・現実)を見つめた国立市の都市計画を作る(改訂)、先手を打つ都市計画

※こんなまちになったらいいな

- ・病院が少ない、小都市だが、短期的に滞在、療養できる病院を!(シビックセンター)
- ・他市に劣る図書館などの施設の充実を図る
- ・文教地区
- ・自転車置場、駐車場の拡充を図る
- ・活気ある商店会
- ・働く場としての魅力がある
- ・再び戻ってきたいと思う街
- ・色々な世代の人を新しいテクノロジーが支えている
- ・大学との繋がりが持てる街
- ・大通りに店舗、会社がたくさん→にぎわい
- ・大通りのにぎわい景観が魅力的
- ・緑が多く残っている
- ・田園地帯の保全を図る方法を検討して実行する
- ・まちづくり景観に関する都市計画・まちづくり条例の問題を解決していく まちの将来像

市民が健康で安心して暮らせるまち

注目するコト

- ・健康/・安心/・暮らし

望ましい状態

- ・夜1人で安心して歩ける街
- ・安心して最後まで暮らせる町
- ・健康に生きられる街
- ・子どもの声が響く街
- ・自宅で最後まで暮らせる
- ・福祉の充実

重要な取組

- ・自治会の見守りの強化
- ・いろいろな人が助け合える町
- ・市民と行政のワークショップの実効性!(共通)
- ・運動施設の充実(身近な)

地域産業を活性化するために産学官連携を活用しているまち

注目するコト

- ・産業振興/・働く場/・産学官連携

望ましい状態

- ・歩いて楽しいまち
- ・ワクワクするイベントの多い町
- ・各駅の商店街が元気
- ・大学が地域に開かれている

重要な取組

- ・くにPayの充実(普及・拡大)
- ・大学と商店会の連携
- ・空きテナントに大学生などの起業に利用
- ・地域の商店と学生のマッチング
- ・産学官連携のための協議体づくり
- ・地域と大学のニーズを共有するシステム
- ・オフィス環境の整備→にぎわい
- ・スタートアップ優遇施策
- ・商業組合と地域の意見をつないでいく

時代が流れても今のまちなみや自然が残っているまち

注目するコト

- ・景観(まちなみ)/・自然/・都市計画

望ましい状態

- ・南部地域の原風景
- ・緑地帯の保全(いちよう、さくら)
- ・市民が誇れる景観が保全されている
- ・富士見通りの電線が地中化されている

重要な取組

- ・大学通りの緑地帯の土地の買収
- ・まちの将来(過去・現実)を見つめた国立市の都市計画を作る(改訂)
- ・先手を打つ都市計画

※こんなまちになったらいいな

- ・病院が少ない、小都市だが、短期的に滞在、療養できる病院を!(シビックセンター)
- ・他市に劣る図書館などの施設の充実を図る
- ・文教地区
- ・自転車置場、駐車場の拡充を図る
- ・活気ある商店会
- ・働く場としての魅力がある
- ・再び戻ってきたいと思う街
- ・色々な世代の人を新しいテクノロジーが支えている
- ・大学との繋がりが持てる街
- ・大通りに店舗、会社がたくさん→にぎわい
- ・大通りのにぎわい景観が魅力的
- ・緑が多く残っている
- ・田園地帯の保全を図る方法を検討して実行する
- ・まちづくり景観に関する都市計画・まちづくり条例の問題を解決していく まちの将来像

■第2回市民WS 20年後のまちの将来像・重要な取組【Dグループ】

2025.11.29(土) 4C
市民WS #2

20年後のまちの将来像・重要な取組 ①グループ

[1] (誰もが安心して) あなたがいて、私がいるまち

注目するコト: 人権、価値観、障がい者、高齢者、子ども、定期的な市民ワークショップ

望ましい状態: 話し合いが活発にできる、ともに一緒に暮らす、お互いを知る、分かりあう、一人ひとりが守られる(当たり前)

意見ボックス (対面とネット)

歩きたくなる街、安全な道路、散歩が楽しいまち、歩いて楽しいまち、争いのないまち、南側、大勢の人が集まる、水がきれい、子供が遊ぶ街、安心、おいしいもの、集まるまち、国産のシンボルをもっているまち、自慢できるまち(好きになれる)、知的で文化的なまち

[2] 人と自然が豊かに交わるまち

注目するコト: 自然、緑、景観(南北それぞれ)、知的で文化的、植林活動(木とか花とか)、水(川)と親しむイベント、写生大会

望ましい状態: 公園が多い、子どもの声がきこえる、心に余裕がある、休日を増やす

水がきれい、子供が遊ぶ街、安心、おいしいもの、集まるまち、国産のシンボルをもっているまち、自慢できるまち(好きになれる)、知的で文化的なまち

[3] にぎやかで、楽しくて、散歩したくなるまち

注目するコト: 活気、商店街がにぎやか、矢川プラス、人が集まる、歩く、楽しい

望ましい状態: 商店街がにぎやか、矢川プラス、人が集まる、歩く、楽しい

立川より国立駅前に行きたい、小さな「お祭り」がいつもあるといい

①あなたがいて、私がいるまち

注目するコト

- ・人権
- ・価値観 人それぞれが守られる
- ・障がい者
- ・高齢者
- ・子ども

望ましい状態

- ・話し合いが活発にされる
- ・ともに一緒に暮らす
- ・お互いを知る 分かりあう
- ・一人ひとりが守られる(当たり前)

重要な取組

- ・定期的な市民ワークショップ
- ・意見ボックス(対面とネット)

②人と自然が豊かに交わるまち

注目するコト

- ・自然 緑
- ・景観(南北それぞれ)
- ・知的で文化的

望ましい状態

- ・公園が多い
- ・子どもの声がきこえる
- ・心に余裕がある

重要な取組

- ・植林活動(木とか花とか)
- ・水(川)と親しむイベント
- ・写生大会
- ・休日を増やす

③にぎやかで、楽しくて、散歩したくなるまち

注目するコト

- ・活気
- ・商店街がにぎやか
- ・矢川プラス 人が集まる
- ・歩く、楽しい

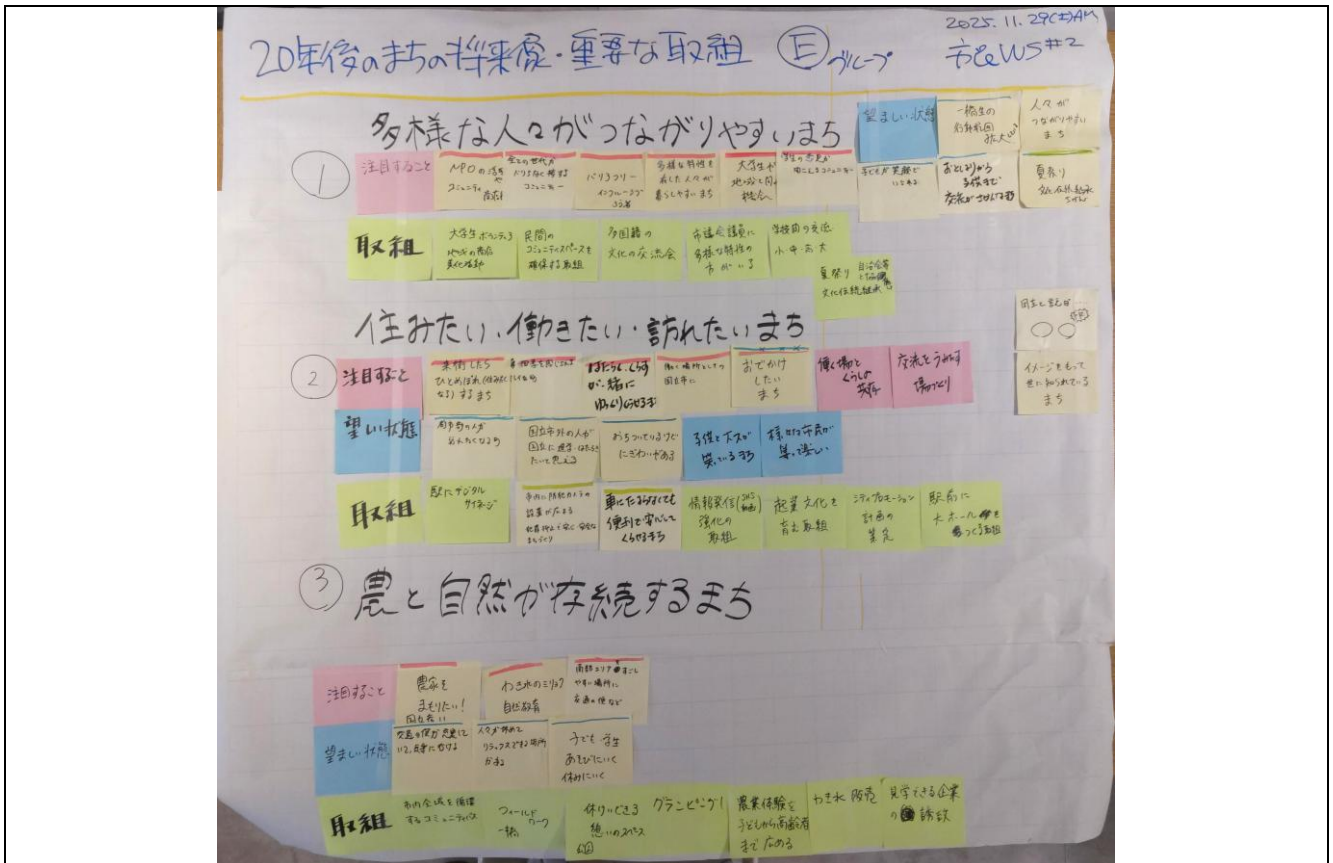
重要な取組

- ・立川より国立駅前に行きます
- ・子供向けイベント
- ・小さな「お祭り」がいつもあるといい

※こんなまちになったらいいな

- ・歩きたくなる街
- ・散歩が楽しいまち
- ・歩いて楽しいまち
- ・安全な道路
- ・歩行と自転車で移動できる
- ・争いのないまち
- ・南北で大事にしているコトがチガウ 1つにまとまる
- ・人 自然が守られるまち
- ・おいしい やさい
- ・手入れの行き届いた街
- ・高層ビルのないまち
- ・どんな在り方も認められるまち(尊重される)
- ・水がきれい
- ・子供の声がする街
- ・安心
- ・おいしいものが集まるまち
- ・商店街がにぎやか
- ・固有のシンボルをもっているまち
- ・自慢できるまち(好きになれる)
- ・知的で文化的なまち

■第2回市民WS 20年後のまちの将来像・重要な取組【Eグループ】



①多様な人々がつながりやすいまち

注目するコト

- ・NP0の活やく コミュニティ 商店街
- ・全ての世代がバリアなく接するコミュニティー
- ・バリアフリー インクルーシブ ろう者
- ・多様な特性を有した人々が暮らしやすいまち
- ・大学生が地域と関われる機会
- ・学生の意志がきこえるコミュニティー

望ましい状態

- ・一橋生の行動範囲が拡大している
- ・子どもが笑顔でいられる
- ・おとしよりから子供まで交流がさかんなまち
- ・夏祭り 文化・伝統継承さかん

重要な取組

- ・大学生ボランティア 地域の商店 美化活動
- ・民間のコミュニティスペースを確保する取組
- ・多国籍の文化の交流会
- ・市議会議員に多様な特性の方がいる
- ・学校間の交流 小・中・高・大
- ・夏祭り 自治体等と協働して 文化伝統継承

②住みたい・働きたい・訪れたいまち

注目するコト

- ・来街したらひとめぼれ(住みたくなる)するまち
- ・四季を感じられるキレイな町)
- ・はたらく、くらすが一緒に ゆっくりくらせるまち
- ・働く場所としての国立市に
- ・おでかけしたいまち
- ・働く場とくらしの共存
- ・交流をうみだす場づくり

望ましい状態

- ・都市部の人々が訪れたいまち
- ・国立市以外の人々が国立に進学・はたらきたいと思える
- ・おちついていてにぎわいがある

・子供と大人が笑っているまち

・様々な市民が集って楽しい

重要な取組

- ・駅にデジタルサイネージ
- ・市内に防犯カメラの設置が広まる犯罪抑止で安心・安全なまちづくり
- ・車にたよらなくても便利で安心してくらせるまち
- ・情報発信(SNS 動画)強化の取組
- ・起業文化を育む取組
- ・シティプロモーション計画の策定
- ・駅前に大ホールをつくる取組

③農と自然が存続するまち

注目するコト

- ・農家をまもりたい！国立産！！
- ・わき水のミリョク 自然教育
- ・南部エリアをすごしやすい場所に交通の便など

望ましい状態

- ・交通の便が充実していて、気楽に行ける
- ・人々が休めてリラックスできる場所がある
- ・子ども・学生 あそびにいく 休みにいく

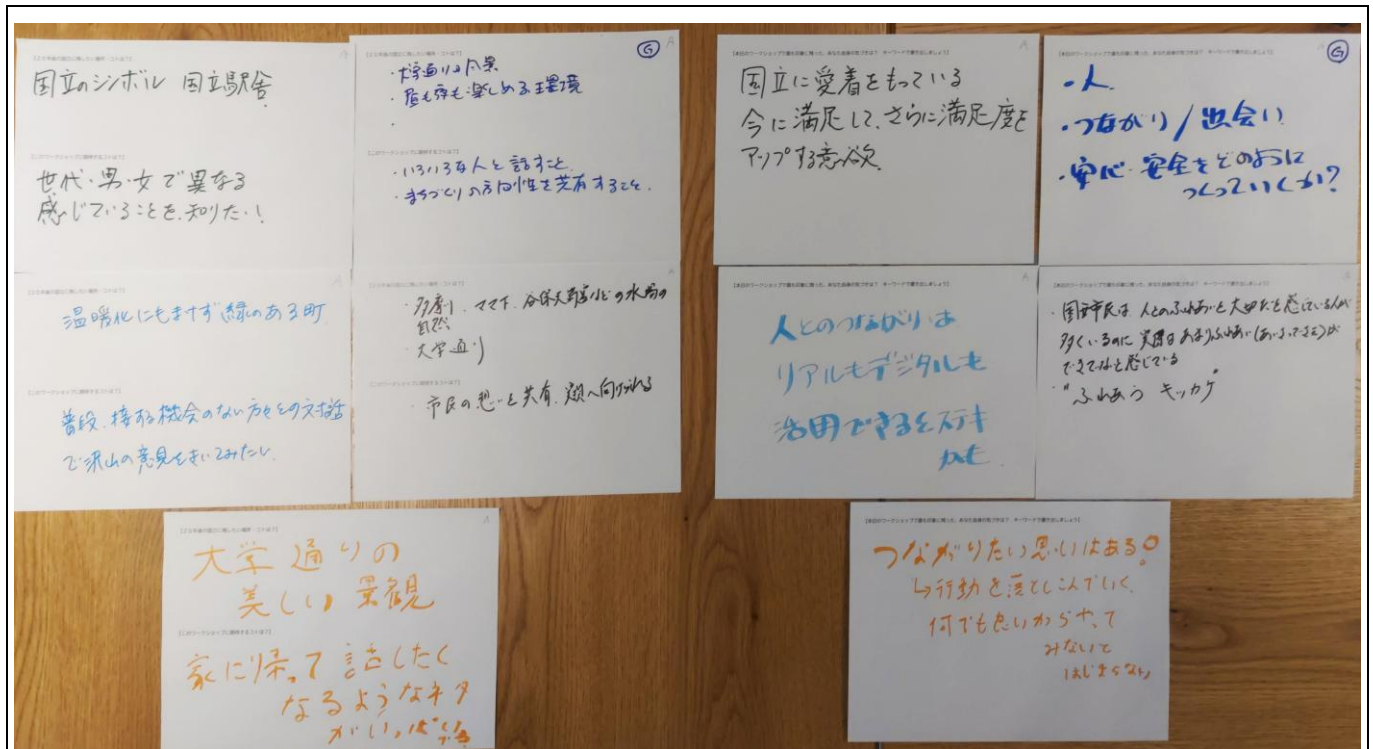
重要な取組

- ・市内全域を循環するコミュニティバス
- ・フィールドワーク 一橋
- ・休けいできる憩いのスペース 公園
- ・グランピング！
- ・農業体験を子どもから高齢者まで広める
- ・わき水販売
- ・見学できる企業の誘致

※こんなまちになったらいいな

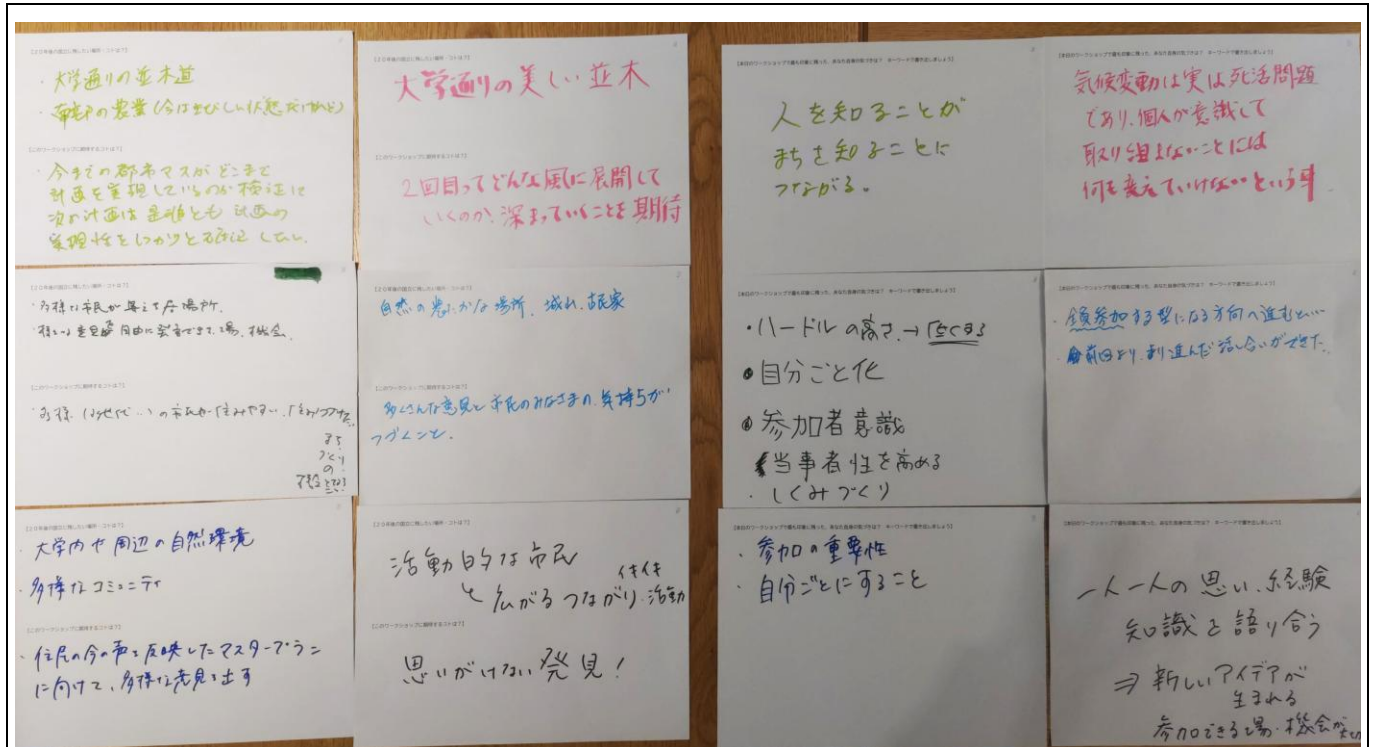
- ・人々がつながりやすいまち
- ・国立と言えば… ○○ PR
- ・イメージをもって世に知られているまち

■第2回市民WS 自己紹介・ふりかえり【Aグループ】



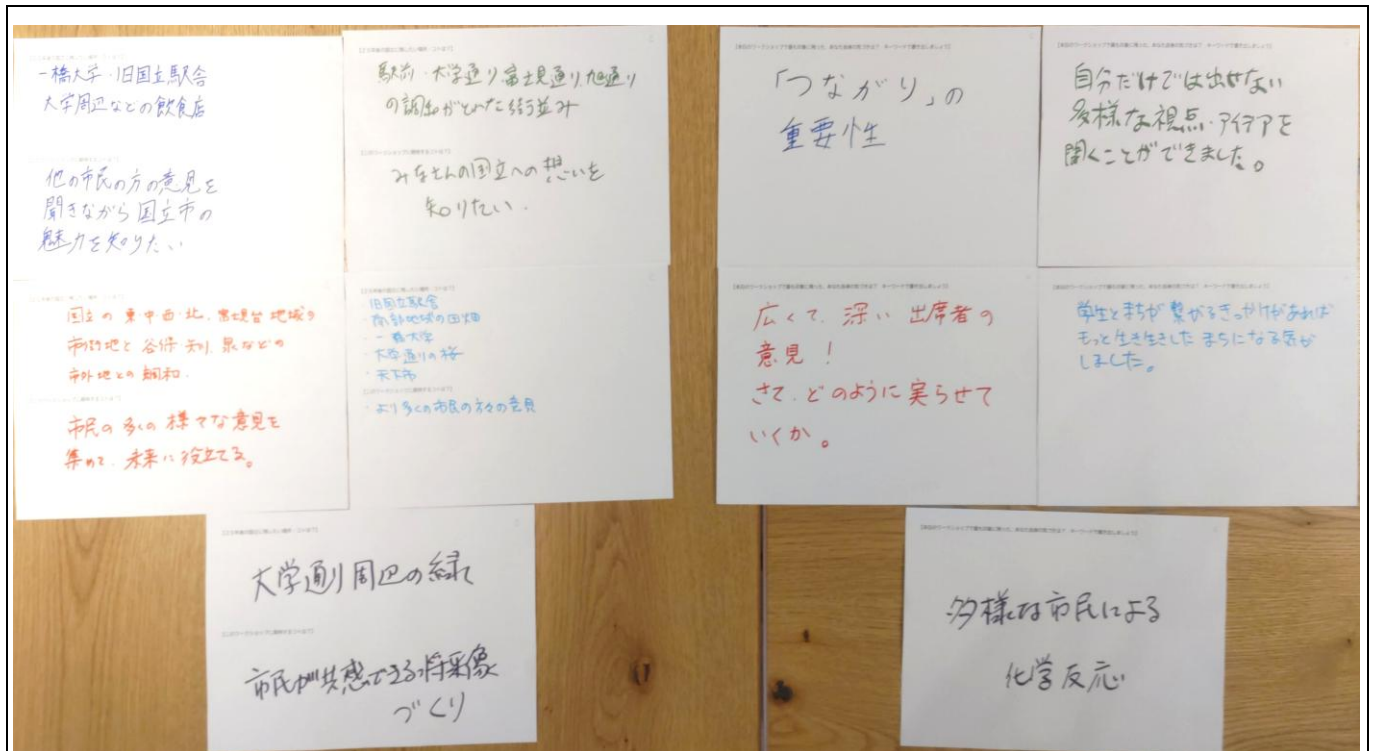
No.	自己紹介		ふりかえり(最も印象に残った気づき)
1	20年後の国立に残したい場所・コト	国立駅のシンボル 国立駅舎	国立に愛着をもっている 今に満足して、さらに満足度をアップする意欲
	ワークショップに期待すること	世代・男・女で異なる 感じていることを知りたい！	
2	20年後の国立に残したい場所・コト	・大学通りの風景 ・昼も夜も楽しめる環境	・人 ・つながり／出会い ・安心・安全をどのようにつくっていくか？
	ワークショップに期待すること	・いろいろな人と話をすること ・まちづくりの方向性を共有すること	
3	20年後の国立に残したい場所・コト	温暖化にもまけず緑のある町	人とのつながりはリアルもデジタルも活用できるとステキかも
	ワークショップに期待すること	普段、接する機会のない方々との対話で 沢山の意見をきいてみたい	
4	20年後の国立に残したい場所・コト	・多摩川、ママ下、谷保天満宮などの水場の自然 ・大学通り	・国立市民は、人とのふれあいを大切だと感じている人が多くいるのに実際はあまりふれあい（あいさつでさえ）ができていないと感じている ・“ふれあう キッカケ”
	ワークショップに期待すること	・市民の想いを共有、実現へ向けられる	
5	20年後の国立に残したい場所・コト	大学通りの美しい景観	つながりたい思いはある！ →行動を落としこんでいく 何でもよいからやってみないとはじまらない
	ワークショップに期待すること	家に帰って話たくなるようなネタがいっぱいで	

■第2回市民WS 自己紹介・ふりかえり【Bグループ】



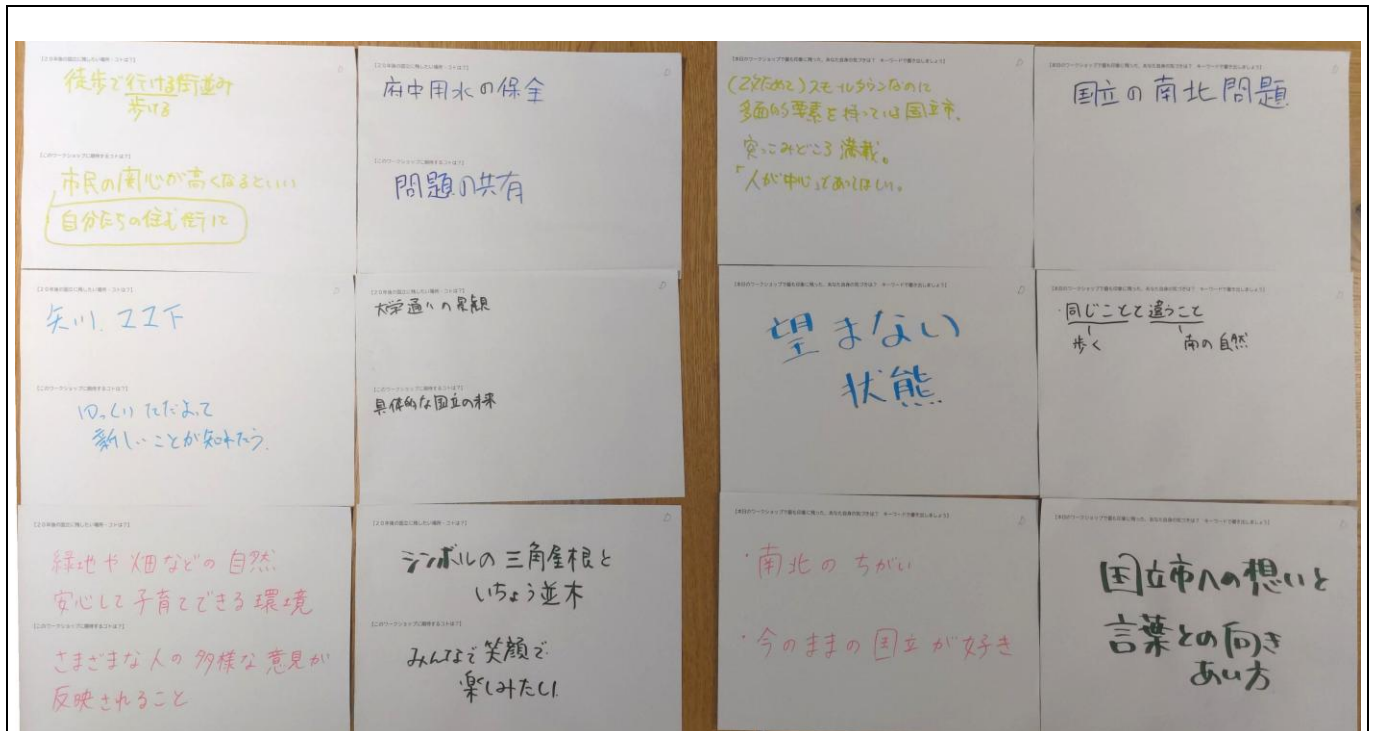
No.	自己紹介		ふりかえり(最も印象に残った気づき)
1	20年後の国立に残したい場所・コト	・大学通りの並木道 ・南部の農業(今はきびしい状態だけれど)	人を知ることがまちを知ることにつながる
	ワークショップに期待すること	・今までの都市マスがどこまで計画を実現しているのか検証して次の計画は是非とも計画の実現生をしっかりと確認したい	
2	20年後の国立に残したい場所・コト	大学通りの美しい並木	気候変動は実は死活問題であり、個人が意識して取り組まないことには何も変えていけないという事
	ワークショップに期待すること	2回目ってどんな風に展開していくのか。深まっていくことを期待	
3	20年後の国立に残したい場所・コト	・多様な市民が集える居場所 ・様々な意見を自由に発言できる場、機会	・ハードルの高さ→低くする ・自分ごと化 ・参加者意識 当事者性を高める ・しくみづくり
	ワークショップに期待すること	・多様(多世代…)の市民が住みやすい、住みづけたいたいまちづくりの機会とすること	
4	20年後の国立に残したい場所・コト	自然の豊かな場所、城山、古民家	・全員参加する型になる方向へ進むといい ・前回より、より進んだ話し合いができた
	ワークショップに期待すること	多くのたくさんの意見と市民のみなさまの、気持ちがつづくこと	
5	20年後の国立に残したい場所・コト	・大学内や周辺の自然環境 ・多様なコミュニティ	・参加の重要性 ・自分ごとにする
	ワークショップに期待すること	・住民の今の声を反映したマスタープランに向けて、多様な意見を出す	
6	20年後の国立に残したい場所・コト	活動的な市民ー広がるつながり イキイキ活動	一人一人の思い、経験、知識を語り合う ⇒新しいアイデアが生まれる 参加できる場・機会が大切
	ワークショップに期待すること	思いがけない発見!	

■第2回市民WS 自己紹介・ふりかえり【Cグループ】



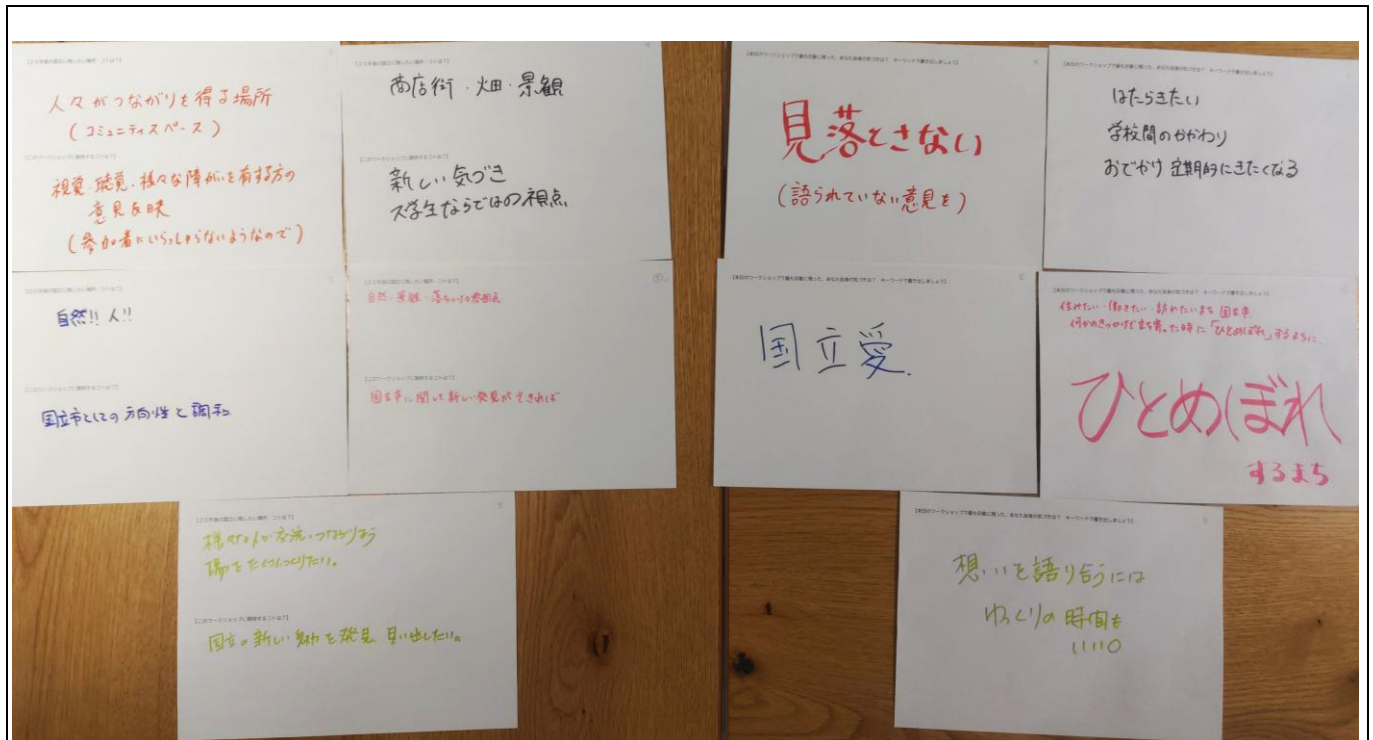
No.	自己紹介		ふりかえり(最も印象に残った気づき)
1	20年後の国立に残したい場所・コト	一橋大学・旧国立駅舎 大学周辺などの飲食店	「つながり」の重要性
	ワークショップに期待すること	他の市民の方の意見を聞きながら国立市の魅力を知りたい	
2	20年後の国立に残したい場所・コト	駅前・大学通り、富士見通り、旭通りの調和がとれた街並み	自分だけでは出せない多様な視点・アイデアを聞くことができました
	ワークショップに期待すること	みなさんの国立への想いを知りたい	
3	20年後の国立に残したい場所・コト	国立の東・中・西・北、富士見台地域の市街地と谷保・矢川、泉などの市外地との調和	広くて、深い出席者の意見！ さて、どのように実らせていくか
	ワークショップに期待すること	市民の多くの様々な意見をまとめて、未来に役立てる	
4	20年後の国立に残したい場所・コト	・旧国立駅舎 ・南部地域の田畑 ・一橋大学 ・大学通りの桜 ・天下市	学生とまちが繋がるきっかけがあればもっと生き生きしたまちになる気がしました
	ワークショップに期待すること	・より多くの市民の方々の意見	
5	20年後の国立に残したい場所・コト	大学通り周辺の緑	多様な市民による化学反応
	ワークショップに期待すること	市民が共感できる将来像づくり	

■第2回市民WS 自己紹介・ふりかえり【Dグループ】



No.	自己紹介		ふりかえり(最も印象に残った気づき)
1	20年後の国立に残したい場所・コト	徒歩で行ける 歩ける街並み	(改めて)スモールタウンなのに多面的要素を持っている国立市 突っこみどころ満載 「人が中心」であってほしい
	ワークショップに期待すること	自分たちの住む街に市民の関心が高くなる といい	
2	20年後の国立に残したい場所・コト	府中用水の保全	国立の南北問題
	ワークショップに期待すること	問題の共有	
3	20年後の国立に残したい場所・コト	矢川、ママ下	望まない状態
	ワークショップに期待すること	ゆっくりただよって新しいことが知れたら	
4	20年後の国立に残したい場所・コト	大学通りの景観	同じことと違うこと 歩く 南の自然
	ワークショップに期待すること	具体的な国立の未来	
5	20年後の国立に残したい場所・コト	緑地や畑などの自然 安心して子育てできる環境	・南北のちがい ・今のままの国立が好き
	ワークショップに期待すること	さまざまな人の多様な意見が反映される こと	
6	20年後の国立に残したい場所・コト	シンボルの三角屋根といちょう並木	国立市への想いと言葉との向きあい方
	ワークショップに期待すること	みんなで笑顔で楽しみたい	

■第2回市民WS 自己紹介・ふりかえり【Eグループ】



No.	自己紹介		ふりかえり(最も印象に残った気づき)
1	20年後の国立に残したい場所・コト	人々がつながりを得る場所 (コミュニティスペース)	見落とさない (語られていない意見を)
	ワークショップに期待すること	視覚・聴覚・様々な障がいを持つ方の 意見反映 (参加者にいらっしやらないようなので)	
2	20年後の国立に残したい場所・コト	商店街・畑・景観	はたらきたい 学校間のかかわり おでかけ定期的に来たくなる
	ワークショップに期待すること	新しい気づき 大学生ならではの視点	
3	20年後の国立に残したい場所・コト	自然!! 人!!	国立愛
	ワークショップに期待すること	国立市としての方向性と調和	
4	20年後の国立に残したい場所・コト	自然・景観・落ちつける雰囲気	住みたい・働きたい・訪れたいまち国立市 何かのきっかけで立ち寄った時に「ひとめぼれ」するまちに ひとめぼれするまち
	ワークショップに期待すること	国立市に関して新しい発見ができれば	
5	20年後の国立に残したい場所・コト	様々な人が交流・つながりあう場所をたくさんつくりたい	想いを語り合うにはゆっくりの時間もいい
	ワークショップに期待すること	国立の新しい魅力を発見、見出したい	